

経営発達支援計画

令和 8 年度(2026 年度)

地域内景況感調査報告書

令和 8 年 1 月～6 月調査

令和 8 年 9 月

笠置町商工会

目 次

第 1 章 調査概要	p2
1.1 アンケート調査の目的	
1.2 アンケート調査の概要	
1.3 アンケート調査の項目	
第 2 章 調査集計結果	p3～p7
2.1 昨年(令和 7 年 1 月～6 月)と比べた売上の傾向について	
2.2 昨年(令和 7 年 1 月～6 月)と比べた利益の傾向について	
2.3 経営上の外部環境の困りごと(経営課題)について	
2.4 経営上の内部環境の困りごと(経営課題)について	
2.5 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて	
第 3 章 調査結果のまとめ	p8～p9
3.1 調査結果のまとめ	
第 4 章 資料	p10～p11
4.1 アンケート調査票	

第 1 章 調査概要

1.1 アンケート調査の目的

このアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和 8 年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況や景況感が、どのように変化したかの実態を把握するためのものであり、地域の経済動向を調査することを目的として実施するものです。

1.2 アンケート調査の概要

- ・ 調査対象 笠置町商工会全会員 66 者
- ・ 調査方法 郵送・持参による調査依頼、Web 及び FAX・訪問等による調査回収
- ・ 回収標本数 30 者(うち Web 回答 8 者) 回収率 45.5%

1.3 アンケート調査の項目

- ・ 昨年(令和 7 年 1 月～6 月)と比べて売上はどのような傾向にあるか
- ・ 昨年(令和 7 年 1 月～6 月)と比べて利益はどのような傾向にあるか
- ・ 外部環境の変化について、経営上の困りごと(経営課題)は何か
- ・ 内部環境の変化について、経営上の困りごと(経営課題)は何か
- ・ 今後、売上拡大を図るために最も必要なことは何か

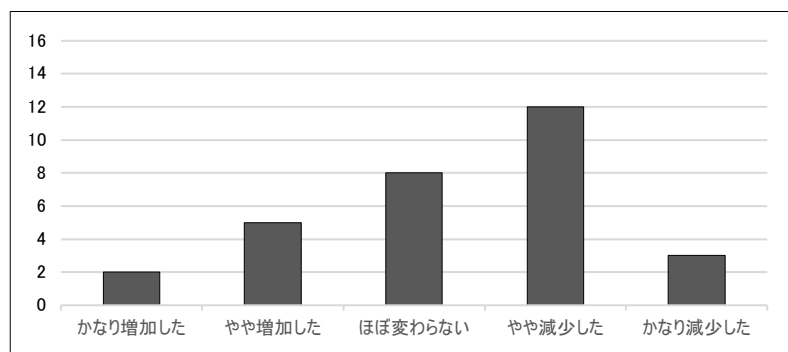
第2章 調査集計結果

2.1 昨年(令和7年1月～6月)と比べた売上の傾向について

質問:昨年(令和7年1月～6月)と比べて売上はどのような傾向にありますか？

回答:30 者

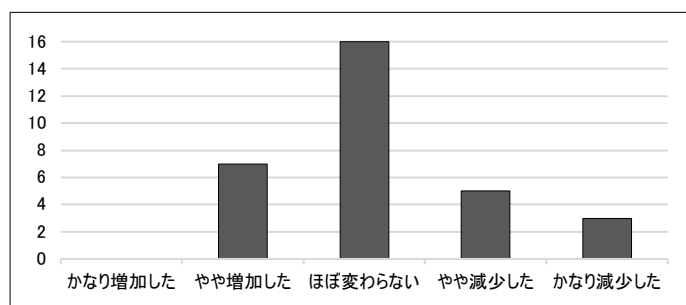
売上の傾向	かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
	2	5	8	12	3



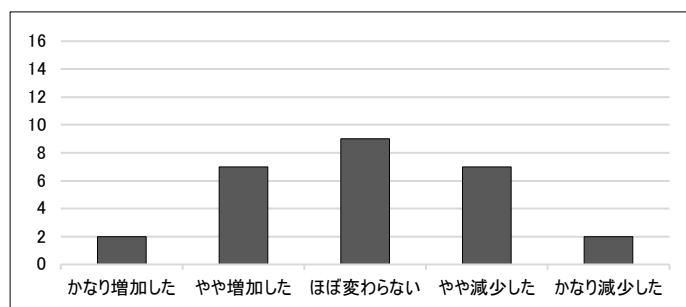
今回の地域経済動向(景況感)調査のアンケートでは、昨年(令和7年1月～6月の半年間)と比べて今年の売上について、どのような傾向にあるかを問うた。その結果、今年(令和8年1月～6月の半年間)の売上は、昨年と比べて、「かなり増加」が2者、「やや増加」が5者、「ほぼ変わらない」が8者、「やや減少」が12者、「かなり減少」が3者となり、「やや減少」が最も多く、「かなり減少した」を含めると半数の事業者の売上が低下したという結果となった。一方、昨年度の同調査(下記[参考グラフ]参照)では、半年前に実施した7月～12月の調査で、「ほぼ変わらない」が16者と突出しており、また1年前に実施した1月～6月の調査では「ほぼ変わらない」と「やや増加」と「やや減少」がほぼ同じ割合になっていたことから、今回の調査で大きな変化が見られた。なお、今回調査の分母が30者であることから一概には言えないが、売上で見た地域内景況感に低下傾向がうかがえる。

や減少」が12者、「かなり減少」が3者となり、「やや減少」が最も多く、「かなり減少した」を含めると半数の事業者の売上が低下したという結果となった。一方、昨年度の同調査(下記[参考グラフ]参照)では、半年前に実施した7月～12月の調査で、「ほぼ変わらない」が16者と突出しており、また1年前に実施した1月～6月の調査では「ほぼ変わらない」と「やや増加」と「やや減少」がほぼ同じ割合になっていたことから、今回の調査で大きな変化が見られた。なお、今回調査の分母が30者であることから一概には言えないが、売上で見た地域内景況感に低下傾向がうかがえる。

[参考グラフ]令和7年7月～12月の調査



[参考グラフ]令和7年1月～6月の調査

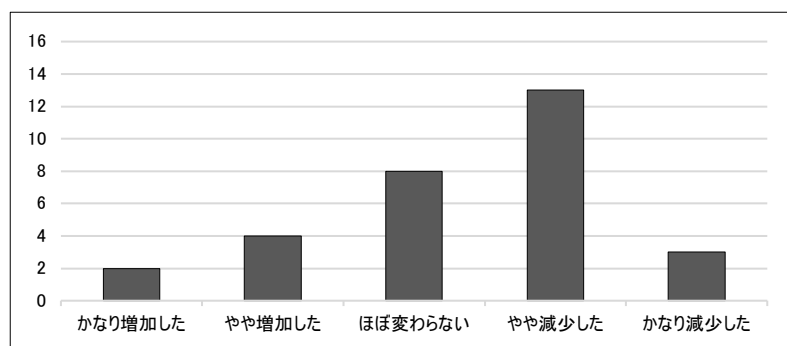


2.2 昨年(令和7年1月～6月)と比べた利益の傾向について

質問:昨年(令和7年1月～6月)と比べて利益はどのような傾向にありますか？

回答:30 者

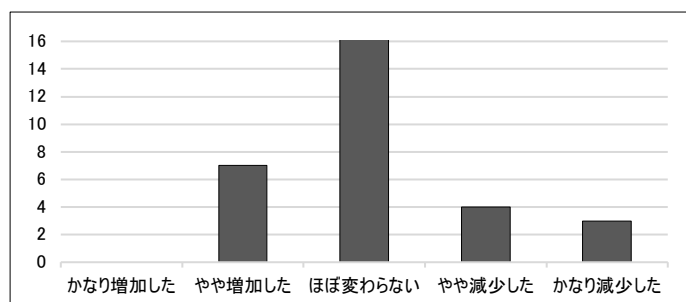
利益の傾向	かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
	2	4	8	13	3



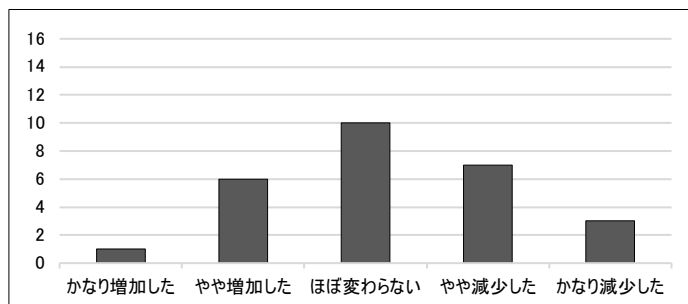
次に、昨年(令和7年1月～6月の半年間)と比べた今年の利益について、どのような傾向にあるかを問うた。その結果、今年(令和8年1月～6月の半年間)の利益は、昨年と比べて、「かなり増加」が2者、「やや増加」が4者、「ほぼ変わらない」が8者、「やや減少」が13者、「かなり減少」が3者となり、先の質問の「売上」に関する傾向と同じように「やや減少」が13者と突出しており、「かなり減少」を含めると半数を超える結果となり、ここでも大きな変化が見られた。一方、昨年の同調査(下記[参考グラフ]参照)では、半年前に実施した7月～12月の調査も「ほぼ変わらない」が最も多く、また、1年前に実施した1月～6月の調査でも「ほぼ変わらない」が多く、売上で見た地域内景況感と同様に、利益で見た地域内景況感も低下傾向がうかがえる。

「かなり減少」が3者となり、先の質問の「売上」に関する傾向と同じように「やや減少」が13者と突出しており、「かなり減少」を含めると半数を超える結果となり、ここでも大きな変化が見られた。一方、昨年の同調査(下記[参考グラフ]参照)では、半年前に実施した7月～12月の調査も「ほぼ変わらない」が最も多く、また、1年前に実施した1月～6月の調査でも「ほぼ変わらない」が多く、売上で見た地域内景況感と同様に、利益で見た地域内景況感も低下傾向がうかがえる。

[参考グラフ]令和7年7月～12月の調査



[参考グラフ]令和7年1月～6月の調査



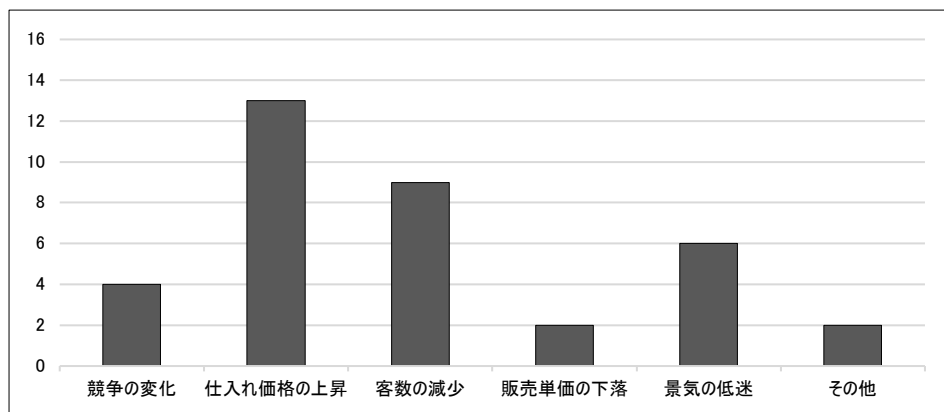
2.3 経営上の外部環境の困りごと(経営課題)について

質問:経営上での困りごとはありませんか？(経営課題／外部環境) ※複数回答可

回答:30 者

外部環境課題	競争の 変化	仕入れ価 格の上昇	客数の 減少	販売単価 の下落	景気の 低迷	その他
	4	13	9	2	6	2

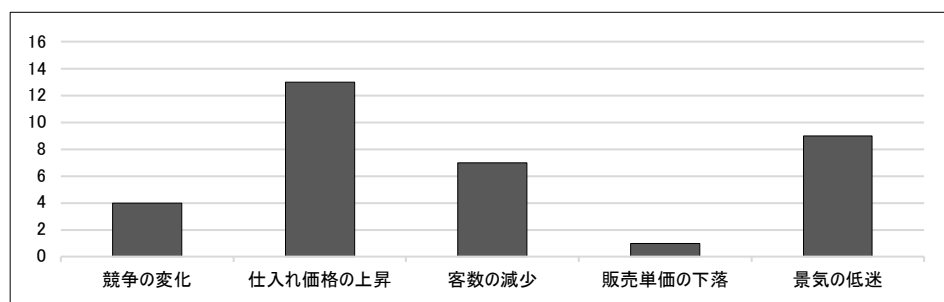
※複数回答あり ※その他 2 (PR 戦略 1、道路歩道の整備 1) 不明 1



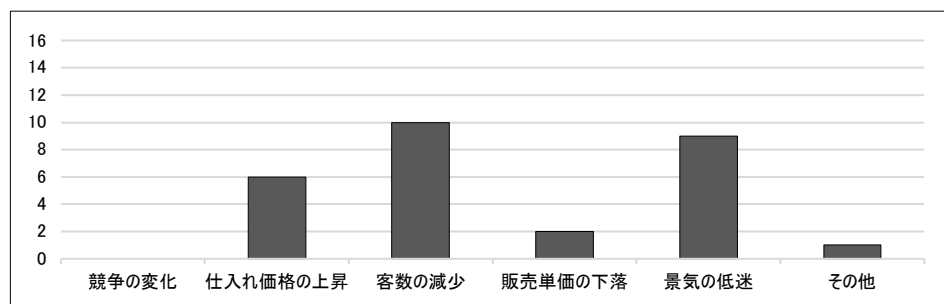
続いて、現状の外部環境の変化について、経営上の困りごとは何かを選択式(複数回答可)にて問うた。その結果、「仕入れ価格の上昇」が最も多く13者、続いて「客数の減」が9者、「景気の低迷」が6者とい

う上位結果となった。一方、昨年の同調査(下記[参考グラフ]参照)では、半年前に実施した7月～12月の調査では、「客数の減少」や「景気の低迷」などが多かったが、1年前に実施した1月～6月の調査から「仕入れ価格の上昇」が増えていたことから、物価上昇等による仕入れ価格の高騰が、大きな影響を再び及ぼしてきている様子がうかがえる。物価上昇等の外部環境の変化は、個々が止められることはできないが、仕入れ価格の上昇分をいかに価格転嫁するかは、業種・業態を問わず、国内における共通した経営課題であることは間違いない。個々の適切な対応が求められる。

[参考グラフ]令和7年7月～12月の調査



[参考グラフ]令和7年1月～6月の調査



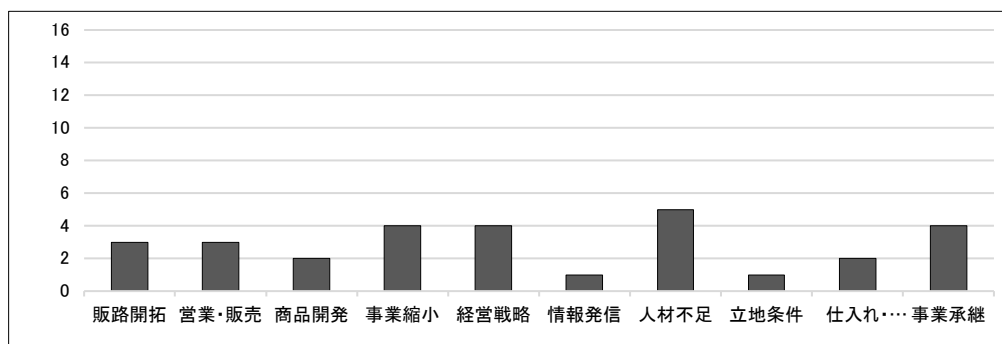
2.4 経営上の内部環境の困りごと(経営課題)について

質問:経営上での困りごとはありますか？(経営課題／内部環境) ※複数回答可

回答:29 者(未回答 1 者)

内部環境課題	販路開拓	営業・販売	商品開発	事業縮小	経営戦略	情報発信
	3	3	2	4	4	1
	人材不足	立地条件	仕入れ・在庫管理	事業承継	その他	なし
	5	1	2	4	5	4

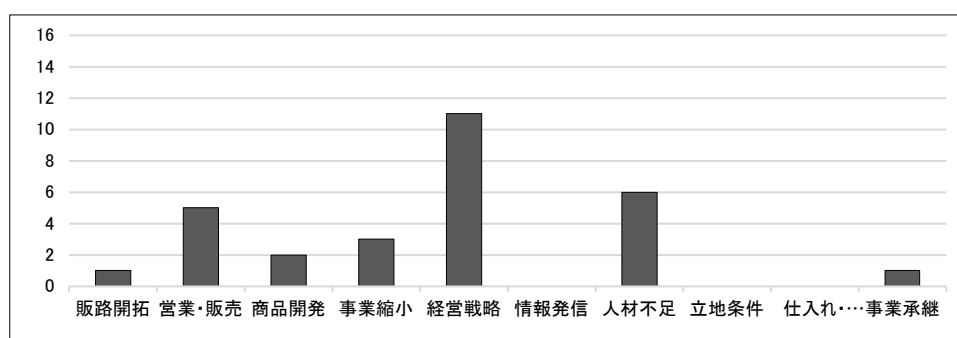
※複数回答あり ※その他 5(人口減少・高齢化 2、運転資金 1、体力の低下 1、自然災害による通行止め 1)



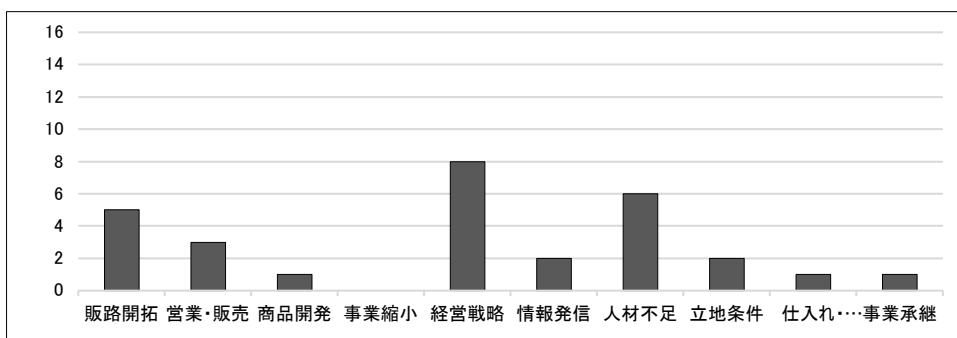
続いて、現状の内部環境の変化について、経営上の困りごとは何かを選択式にて問うた。その結果、「人材不足」が5者と最も多いが、半

年前に実施した7月～12月の調査と1年前に実施した1月～6月の調査で、最も多かった「経営戦略」のように、ある程度の傾向が見られていたが、今回の調査では、事業者ごとの内部環境の経営課題のバラツキが見られた。特に気になることは、「事業縮小」や「事業承継」の割合が徐々に増加している点である。経営者の高齢化や後継者不在などの問題は、社会に共通する課題ではあるが、商工会や京都府事業承継・引継ぎセンターなどの公的支援機関を活用するなど、早期の対策が求められる。

[参考グラフ]令和7年7月～12月の調査



[参考グラフ]令和7年1月～6月の調査



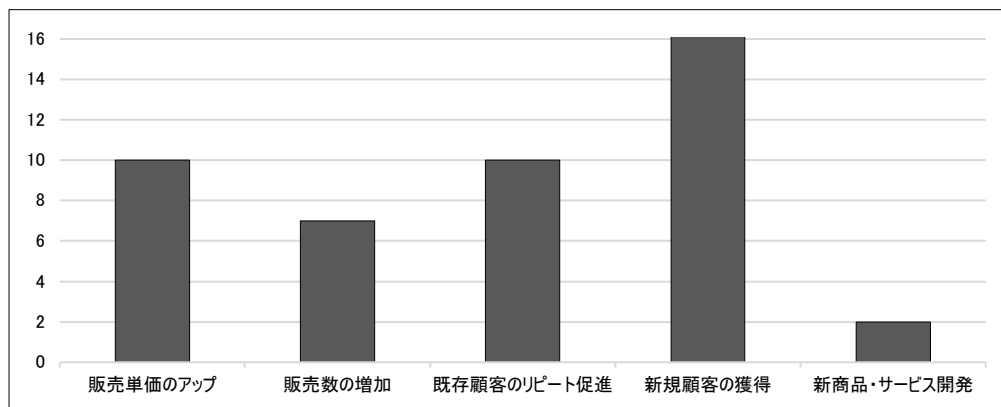
2.5 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて

質問: 今後売上拡大を図るためにもっとも必要なことはどれですか？

回答: 29 者 (未回答 1 者)

売上拡大のために	販売単価のアップ	販売数の増加	既存顧客のリピート促進	新規顧客の獲得	新商品・サービス開発
	8	6	10	6	0

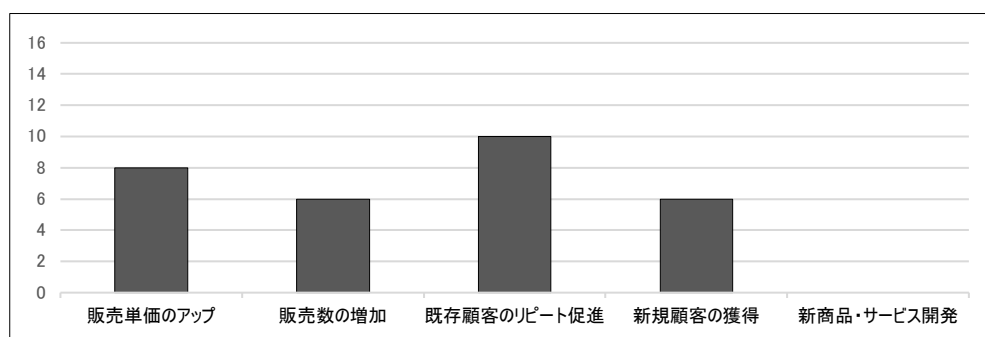
※複数回答あり



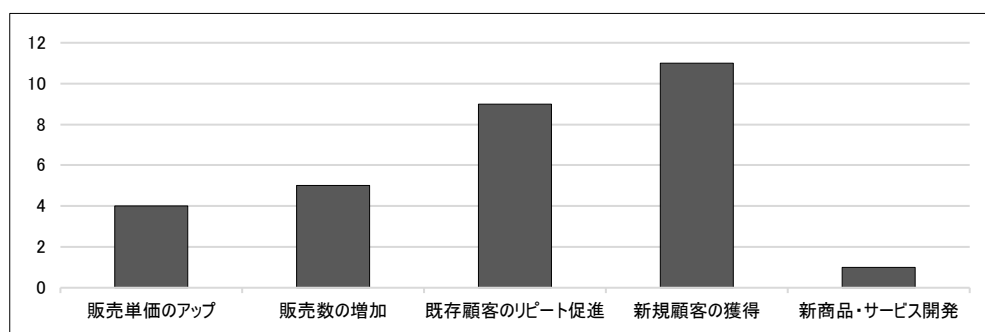
続いて、今後、売上拡大に向けて最も必要と思うことは何かを選択式にて問うた。その結果、「新規顧客の獲得」が 16 者と最も多く、「販売単価のアップ」と「既存顧客のリピート促進」がそれぞれ 10 者と上位を占めた。半年前に実施した 7 月～12 月の調査では、「新規顧客の獲得」より、「既存顧客のリピート促進」が多くなっていたが、それが大きく変化している。一方、1 年前に実施した 1 月～6 月の調査では「新規顧客の獲得」が最も多かったが、今回のように大きく突出していることはなく、「既存顧客のリピート促進」も強化すべきと回答している傾向がある。いずれにしても個者ごとの売上拡大に対する課題は違うと思われるが、マーケティングの観点から、これらの手法はそれぞれ異なるものであるため、その手法を探り、トライアンドエラーを積み重ね、適切な売上拡大につなげることが求められる。

「新規顧客の獲得」と「既存顧客のリピート促進」がそれぞれ 10 者と上位を占めた。半年前に実施した 7 月～12 月の調査では、「新規顧客の獲得」より、「既存顧客のリピート促進」が多くなっていたが、それが大きく変化している。一方、1 年前に実施した 1 月～6 月の調査では「新規顧客の獲得」が最も多かったが、今回のように大きく突出していることはなく、「既存顧客のリピート促進」も強化すべきと回答している傾向がある。いずれにしても個者ごとの売上拡大に対する課題は違うと思われるが、マーケティングの観点から、これらの手法はそれぞれ異なるものであるため、その手法を探り、トライアンドエラーを積み重ね、適切な売上拡大につなげることが求められる。

[参考グラフ] 令和 6 年 7 月～12 月の調査結果



[参考グラフ] 令和 6 年 1 月～6 月の調査結果



第3章 調査結果のまとめ

3-1 調査結果のまとめ

今回の地域経済動向（景況感）のアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和8年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況が、どのように変化したかの景況感の実態を調査し、その結果をもとに、商工会による個者支援に活かすことを目的としたものである。

結果、笠置町商工会会員66者に対し、30者からの回答を得られ、回収率は45.5%と半数をやや割り込む結果となった。当会は小規模商工会であり、分母となる会員数が他の商工会に比べて少ないといえるが、逆にアンケートにおける分母（回答数）を増やすことで、より精度の高い調査結果を得ることができるだろう。改めて、各会員においては、分母となる多くの回答が得られるようご協力をお願いし、個者支援に活かしていきたい。

アンケート調査結果のまとめ

① 昨年（令和7年1月～6月）と比べた売上の傾向について

今回の調査では「やや減少した」と回答した事業者が12者、「かなり減少した」が3者と、半数以上が売上の減少という結果となった。これは、昨年の同調査では見られなかった結果であり、大きな変化といえ、売上で見た地域内景況感に低下傾向が見られる。

② 昨年（令和7年1月～6月）と比べた利益の傾向について

「売上の傾向」と同じように、「やや減少した」と回答した事業者が13者、「かなり減少した」が3者と、半数以上が利益の減少という結果となった。これも昨年の同調査では見られなかった結果であり、利益で見た地域内景況感に低下傾向が見られる。

③ 経営上の外部環境の困りごと（経営課題）について

「仕入れ価格の上昇」が13者と最も多く、昨年の同調査と比較しても、この経営課題が徐々に増えてきていることがうかがえる。物価上昇等は、個者が止められることはできないが、仕入れ価格の上昇分をいかに価格転嫁するか、これは業種・業態を問わず共通した経営課題であり、個々の適切な対応が求められる。

④ 経営上の内部環境の困りごと（経営課題）について

今回の調査では突出した経営課題がなく、事業者ごとにバラツキが見られた。ただ、気になることは、「事業縮小」や「事業承継」の割合が徐々に増加している点であり、商工会や京都府事業承継・引継ぎセンターなどの公的支援機関を活用するなど、早期の対策が求められる。

⑤ 今後の売上拡大に向けて最も必要なことについて

「新規顧客の獲得」が16者と最も多く、「販売単価のアップ」と「既存顧客のリピート促進」がそれぞれ10者と上位を占めたが、昨年7月～12月の調査では、「新規顧客の獲得」より、「既存顧客のリピート促進」が多くなっており、それが大きく変化している。個者ごとの売上拡大に対する課題は違うと思われるが、「新規獲得」と「既存顧客のリピート」の手法はそれぞれ異なるものであり、その手法を探りながら、個者ごとの適切な売上拡大につなげることが求められる。

第4章 資料

4-1 アンケート調査票（サイズ:A4）

会員各位

令和8年7月吉日

笠置町商工会
会長 大西 篤司
(公印省略)

令和8年度(1月～6月)景況感調査 アンケートのご協力をお願い

拝啓 盛夏の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会では、経営発達支援計画の一環として、地域の景況感、特に物価高騰等の外部環境の変化によって、笠置町内の事業者の経営にどういった影響を及ぼしているか等の実態を把握するため、独自の調査をさせていただき、今後の経営支援に役立てたいと考えています。事業者の皆様におかれましては、様々な外部環境の変化によって、経営環境に影響を及ぼしているものと思われます。つきましては、同封のアンケート用紙にご記入いただき、ご回答をFAX または Web 等にてお願いしたいと存じます。簡単なアンケート内容にしておりますが、誠に勝手ながら令和8年8月10日までの期限を設定させていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

※Web でのご回答は、
こちらの QR コードから可能です。



[ご質問やお問合せ窓口]

笠置町商工会
船本、石徳

TEL:0743-95-2159

FAX:0743-95-2960

E-mail: kasagi-sci@kyoto-fsci.or.jp

笠置町商工会 令和8年度(1月～6月)景況感調査アンケート用紙
(締切:令和8年8月10日まで / 送信先 FAX: 0743-95-2960)

次の質問について、それぞれ○印でご回答ください。

1. 昨年(令和8年1月～6月)と比べて売上はどのような傾向にありますか？

かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
---------	--------	---------	--------	---------

2. 昨年(令和8年1月～6月)と比べて利益はどのような傾向にありますか？

かなり増加した	やや増加した	ほぼ変わらない	やや減少した	かなり減少した
---------	--------	---------	--------	---------

3-1. 経営上での困りごとはありますか？(経営課題／外部環境) ※複数回答可

競争の変化	仕入れ(原材料価格) 価格の上昇	客数の減少	販売単価の下落	景気の低迷
その他()				

3-2. 経営上での困りごとはありますか？(経営課題／内部環境) ※複数回答可

販路開拓	営業・販売	商品開発	事業縮小	経営戦略
情報発信	人材不足	立地条件	仕入れ・在庫問題	事業承継
その他()				

4. 今後売上拡大を図るためにもっとも必要なことはどれですか？

販売単価のアップ	販売数の増加	既存顧客の リピート促進	新規顧客の獲得	新商品・新サービス 開発
----------	--------	-----------------	---------	-----------------

5. その他、具体的な経営課題(お悩みごと)等がございましたら、お聞かせください。

事業者名	
------	--